

平成28年度 事業報告

世界情勢を振り返ってみると、先行きの不透明感を意識させる出来事が多く、6月の英国国民投票でEU離脱賛成派が、11月の米国大統領選でドナルド・トランプ氏が、いずれも大方の予測を覆して勝利した。我が国を取り巻く国際経済では、環太平洋連携協定（TPP）に対し保護主義を強めるトランプ大統領が「永久に離脱」と宣言し、協定発効は極めて困難な情勢となっている。国内に目を向けると、4月に熊本地震等各地で災害が相次いだ一方、リオのオリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍や3年連続のノーベル賞受賞など、日本人の底力を世界に示した1年でもあった。国内経済全体では、日銀が1月末にマイナス金利導入を決め、夏場以降、輸出の持ち直しを背景に踊り場を脱する動きがみられた。県内では10月に知事選が行われ、12年ぶりの新リーダーとして米山県政が誕生。県内経済においては、製造や流通など様々な業種の県内企業がアジアなどの新興国への進出計画を打ち出し、また、雇用面では人手不足を背景に有効求人倍率が高水準で推移した。

新潟経済同友会は、役員改選期である平成28年度、代表幹事はじめ特別幹事・副代表幹事・幹事の改選が行われ、山本代表幹事が新たな筆頭代表幹事となった。山本善政・今井幹文・吉田至夫の3名の代表幹事による新たな体制でスタートを切り、委員会組織においても新設を含み15の委員会および1つの研究会で一層の活動内容充実と活性化を図った。

新設された観光推進委員会では、本県のインバウンド促進と交流人口拡大に向けた観光戦略の検討を行った。また、各委員会とも独自で活発な活動を展開する中、3つのシンポジウムが開催された。11月には、インフラ推進委員会が「2030年冬季オリンピック・パラリンピック新潟開催の課題を探る」と題し、冬季五輪の新潟開催実現のための課題共有と、市民の機運醸成を目的として実施した。2月には、起業家支援研究会が「ワクワクする生き方＝起業×新潟」と題し、起業しやすい環境づくりや起業支援の方策などについて、学生も交え活発な意見交換を行った。続いて3月には成長戦略委員会・教育問題委員会共催で「新潟のプライドを如何に醸成するか」と題し、子ども達が地元、新潟を知り、プライドを持てるようにするために何が出来るかをキャリア教育、文化振興など多角的観点から考察し、今後の取り組みへの有意義な示唆を得た。それぞれのシンポジウムは、本県が日本海側の中核拠点として、住み易く、いきいきと働く場もあり、夢を持って世界に誇れる郷土新潟県を創ることを目指して開催したものである。さらに、対外活動では、金沢・岐阜・静岡・福井・富山・中部・山梨の中央日本地区の経済同友会が一堂に会する「第25回経済同友会中央日本地区会議」を当会主管で長岡市にて開催。「広域観光と観光資源の磨き上げ」を総合テーマにインバウンド・アウトバウンドを取り巻く現状、広域観光周遊ルートの取り組みについて、連携も視野に入れた情報交換の場となった。

このように今年度も当会活動は、産官学各方面から強い関心を集め、その期待に応える高い評価を得て、当会の存在感を高めてきた。これからも、グローバル化、少子・高齢化、技術革新などの環境変化の中で、我々の活動は止まることなく、全会員が一企業や特定業種の利害を超えた立場で政策提言集団として責任ある活動を実践して参りたい。

I. 委員会活動

1. 一般行政委員会

委員長 村山 政文 (株)村山土建・社長

地方創生に向けた地方自治体の在り方を検討していくため、地方自治体の財政状況や国際比較等、財政健全化へ向けて専門家から講演を頂き、理解を深めた。

【テーマ】地方創生に向けた地方自治体の財政健全化

回	開催日	内 容
	6月 6日	正副委員長会議
第1回	6月 6日	(公開) 「国際比較から考察する、日本の財政の現状」 講師：川口雅也 氏 日本公認会計士協会 公会計担当研究員
	7月 19日	正副委員長会議
第2回	9月 30日	(公開) 「公会計はどこまで民間に近づいたか～地方財政を正しく理解するために」 講師：磯道真 氏 日本経済新聞社 編集局地方部主任研究員 日経グローバル 副編集長
	2月 8日	正副委員長会議

2. 地域委員会

委員長 吉田 至夫 (株)新潟クボタ・社長

本県における地域振興の可能性を探るべく、農業の更なる活性化のための方策や地域産業のブランドマネジメントに関して、専門家による講演会を開催した。

また、宮城県を訪問し、新潟市と同じく国家戦略特区に指定されている仙台市や、東北大学を中心として産学連携で進める近未来技術開発の状況、地方空港初の民営化で注目される仙台国際空港の取組等について視察した。

【テーマ】地方創生・地域産業の活性化に向けた可能性の探求

回	開催日	内 容
	6月 15日	正副委員長会議
第1回	7月 20日	(公開) 「ニッポン農業 生き残りのヒント」 講師：吉田忠則 氏 日本経済新聞社 編集局経済部編集委員
	10月 26日	J Aグループ幹部との懇談会
第2回	12月 16日	(公開) 「共創型企业と地域創生」 講師：長尾雅信 氏 新潟大学大学院 技術経営研究科 准教授
第3回	1月 30日 ～31日	(公開) 宮城県視察 1日目 仙台国際空港(株)、農業生産法人(株)GRA 2日目 仙台市役所、みやぎ復興パーク
	2月 22日	正副委員長会議

3. 環境・健康委員会

委員長 北村 慎一 (株)セキュリティリサイクル研究所・会長)

今年度より導入されたストレスチェックの課題や、健康経営で先進的な取組を行う企業より講師を招き、経営者の意識向上を目的とした講演会を開催した。

【テーマ】 戦略的健康経営の普及・啓発

回	開催日	内 容
	4月 4日	正副委員長会議
第1回	7月 21日	(公開) 「時代遅れの独り言」 講師：村山実氏 (一社)新潟縣健康管理協会 会長
第2回	9月 6日	(公開) 「『健康経営』と『文化経営』のすすめ」 講師：尾崎元規氏 花王(株) 顧問
第3回	11月 24日	(公開) 「口腔ケアで健康生活を獲得し、うつ状態からの脱却を！」 講師：河野正司氏 明倫短期大学 学長

4. エネルギー委員会

委員長 野沢 慎吾 (セコム上信越(株)・会長)

エネルギー産業の現状や、再生可能エネルギー導入に向けた課題と施策などについて研究を深めた。

また、廃炉に向けた作業の続く福島第一原子力発電所の現状を視察した。

【テーマ】 エネルギー社会の研究

回	開催日	内 容
	4月 21日	正副委員長会議
第1回	6月 28日	(公開) 「エネルギー産業の現状・課題と今後の展望」 講師：伊藤敏憲氏 (株)伊藤リサーチ・アンド・アドバイザー 代表取締役兼アナリスト
第2回	2月 9日	(公開) 「ゼロ・エミッション社会の実現に向けて」 講師：朝田照男氏 丸紅(株) 取締役会長
	2月 9日	正副委員長会議
第3回	3月 15日	福島第一原子力発電所 視察

5. 企業経営委員会

委員長 中元 将人 (株)中元組・会長)

刻々と変化する企業環境に対応すべく、専門職にある講師を招き、研鑽に励んだ。
また、産学連携の観点から、新潟大学の研究者を招いた研究発表会を開催し、意見交換を行った。

【テーマ】 企業経営を巡る諸課題の研究

回	開催日	内 容
	5月 17日	正副委員長会議
	8月 9日	正副委員長会議
第1回	9月 2日	(公開) 新潟大学による研究発表 ①「TPPを巡る論点のすれ違いー農業と商工業の性格の違いを考 えるー」 講師：伊藤亮司 氏 農学部農業生産科学科 助教 ②「超スマート社会@新潟」 講師：山崎達也 氏 大学院自然科学研究科 教授
第2回	9月 28日	(公開) 「変わる若者意識と新しい人材教育」 講師：田尻邦夫 氏 NPO法人 新社会人養成塾BOOSTER 代表
第3回	2月 2日	(公開) 「企業経営とM&Aの活用法」 講師：三宅卓 氏 (株)日本M&Aセンター 代表取締役社長
	2月 2日	正副委員長会議
第4回	3月 22日	胎内市視察 新潟製粉(株)第2工場、(株)小国製麺清水工場、中条グランドホテル、 いちごカンパニー(株)

6. 国際戦略委員会

委員長 長谷川 宏志 (ハセガワ化成工業(株)・社長)

本年度の海外ミッションは、親日国として名高いベトナムを訪問した。本県には、平成25年に新潟ベトナム協会が設立され、さらに平成27年には本県とハイフォン市が「交流の覚書」を締結したことにより、今後、経済、観光をはじめ、幅広い分野で人材交流が進むことが予想される。経済現況などについてブリーフィングや意見交換、現地施設等の視察を行いながら、経済発展の進むハノイ、ハイフォン、ホーチミンの三都市を回った。

また、新潟の経済人として人的・経済的な交流促進を目的に、新潟に駐在する中国、韓国、ロシアの各総領事館との懇談会を開催した。

◎海外ミッション

日 程：平成28年10月12日～10月16日

行き先：ベトナム

訪問先：JETRO ハノイ事務所、ティエンハカメダ、ハイフォン市、アベインダストリアルベトナム、東和インダストリアルベトナム、NST アセアン支局など

【テーマ】新潟の拠点化向上と充実

回	開催日	内 容
	5月 25日	正副委員長会議
第1回	8月 9日	駐新潟3総領事館との交流納涼会

第2回	9月 6日	①「ベトナムの紹介」 講師：グエンティミンゴク 氏 新潟県知事政策局国際課国際交流員 ②「ベトナムのビジネス環境、経営課題、今後の展望」 講師：池部亮 氏 日本貿易振興機構海外調査部 アジア大洋州課長
	11月 14日	正副委員長会議
	12月 16日	正副委員長会議
第3回	1月 20日	駐新潟3総領事館との交流新年会
第4回	2月 1日	(公開) 新潟国際化セミナー ①「これからの50年 新日韓ビジネス成功の課題」 講師：趙恩鎬(チョ ウンホ) 氏 大韓貿易投資振興公社(KOTRA) 日本地域本部長 兼 東京貿易館長 ②「新潟県と北東アジア諸国との経済関係並びに日露の新たな経済関係」 講師：酒見健之 氏 (公財)環日本海経済研究所 経済交流部長
第5回	2月 3日	次年度の活動方針について 海外ミッションなど具体的な活動計画について

7. 教育問題委員会

委員長 野口 一則 (株シアンス・社長)

5 経済同友会教育担当委員会を栃木県で開催し、視察や各同友会の取組紹介、意見交換等を行った。県内4大学の学長・副学長を招き各大学のキャリア教育の取組について紹介をいただき、意見交換を行った。また、次年度視察を予定している県立海洋高等学校より実践的なキャリア教育の取組について講演会を開催した。

出前授業は教職員向けの開催を含め、計6回実施した。

【テーマ】次代を担う人財の育成を考える

回	開催日	内 容
	5月 24日	正副委員長会議
	6月 3日	5 経済同友会 教育担当委員会交流会 (宇都宮市他)
第1回	9月 29日	(公開) 新潟大学・長岡技術科学大学・新潟県立大学・事業創造大学院大学との意見交換会
	10月 11日	新潟県教育庁 池田教育長に「出前授業のご案内」を手交 出席者：野口委員長、大竹副委員長、今井委員
	12月 22日	正副委員長会議
	1月 17日	正副委員長会議
	3月 2日	(公開・成長戦略委員会と共催) シンポジウム「新潟のプライドを如何に醸成するか」 ※詳細は成長戦略委員会を参照
第2回	3月 16日	新潟大学創生学部とのインターンシップなどへの協力体制について協議を行う
第3回	3月 16日	(公開) 「糸魚川版デュアルシステムの構築に向けて～地域振興に直結する新しいキャリア教育のしくみ～」 講師：松本将史 氏 新潟県立海洋高等学校 教諭

《出前授業実施実績》

回	開催日	講師	対象
第18回	8月5日	本間 彊	事業創造大学院大学 学生、教員 120名
第19回	8月17日	池田 弘	新潟県高等学校長協会商業部会 教職員 68名
第20回	9月21日	安藤栄治	新潟県立長岡商業高等学校 3年生 90名
第21回	11月18日	阿部尚義	新潟産業大学 学生 53名
第22回	11月25日	渡部智明	公立高等学校副校長・教頭研修会 副校長・教頭 120名
第23回	11月29日	山井 太	新潟県立大学 学生 170名

8. 例会担当委員会

委員長 本間 彊 (株丸屋本店・社長)

委員会活動以外で、会員が一同に会する場として計4回の「例会」を開催し、交流を深めた。

回	開催日	内 容
	6月14日	第26回例会 「DeNAの新規事業から日本の変革に挑む」 講師：南場智子氏 (株)DeNA 取締役会長
	9月13日	第27回例会 「最近の金融・経済情勢」 講師：亀田制作氏 日本銀行新潟支店 支店長
	12月13日	第28回例会 「国立大学法人新潟大学の現状と展望～地域活性化への取組み～」 講師：高橋姿氏 国立大学法人新潟大学 学長
	3月14日	第29回例会 「紛争国で暮らして、－アフリカ・中近東での生活体験－」 講師：宮村治男氏 白根大通病院 副院長

9. 百年後委員会

委員長 渡邊 明紀 (新発田建設株・社長)

当委員会提言に端を發し設置された、「新潟県人口問題対策会議」については引き続き参画し、新潟県の人口増加に向けて専門家による講演会等の開催を通し、具体的な対応策を検討した。

【テーマ】提言「新潟県人口300万人を目指して」の具体的実現に向けて

回	開催日	内 容
	5月10日	正副委員長会議
	7月19日	正副委員長会議
第1回	9月16日	(公開) 「総合的女性支援が地方を救う」 講師：柴田悠氏 京都大学大学院 人間・環境学研究科 准教授
	9月21日	異業種交流会
	3月10日	異業種交流会

新潟県人口問題対策会議への対応について

回	開催日	内 容
第1回	6月 6日	新潟県人口問題対策会議
第1回	8月 23日	暮らしやすさ・定住促進戦略チーム
第1回	8月 25日	人づくり戦略チーム
第1回	8月 29日	子育て支援・男女共同参画戦略チーム
第2回	9月 1日	新潟県人口問題対策会議
第3回	12月 20日	新潟県人口問題対策会議
第2回	2月 3日	暮らしやすさ・定住促進戦略チーム
第4回	3月 30日	新潟県人口問題対策会議

10. 会員交流委員会

委員長 本間 剛三 (株)本間組・会長

主に新入会員・交替会員向けに当会活動を説明する「オリエンテーション」また会員交流懇親会として、毎年恒例の「納涼会」及び「新潟の食を楽しむ会～晩秋の新潟・温石に和む～（忘年会）」を開催し、会員の増強と交流促進を図った。

回	開催日	内 容
第1回	5月 13日	諸行事（オリエンテーション・納涼会・新潟の食を楽しむ会）の内容と会員の参加促進について
	6月 14日	第1回オリエンテーション 各委員会活動内容の紹介
	8月 23日	納涼会 アトラクション：POP s バンド「snow drop」によるライブ
	11月 8日	第2回オリエンテーション 各委員会活動状況の紹介
	11月 8日	新潟の食を楽しむ会～晩秋の新潟・温石に和む～（忘年会） 「安吾の新潟」 講師：坂口綱男 氏 安吾 風の館 館長

11. 国際見本市推進委員会

委員長 関根 繁明 (明和工業株)・社長

平成26年8月に「国際見本市要望書」を新潟県・新潟市へ提出以降、動向を伺った。

【テーマ】国際見本市会場の早期整備に向けて

12. 広域交流委員会

委員長 樋熊 隆治 (株)ゼルコバ・社長

第25回経済同友会中央日本地区会議を長岡市にて開催し、観光について経済・産業の観点から意見交換を行うとともに、4 経済同友会交流会において近隣経済同友会（群馬・埼玉・栃木）と経済・産業・観光等多角的観点で交流・絆を深めた。

また、全国経済同友会セミナーをはじめ東北ブロック会議等にも積極的に参加し当会活動をPRした。

【テーマ】県域を越えた経済同友会との交流を通し、「新潟の元気」を発信

回	開催日	内 容
第1回	6月27日	経済同友会中央日本地区会議開催に向けて意見交換
	10月4日	第2回4経済同友会交流会（宇都宮市）
第2回	11月2日	経済同友会中央日本地区会議開催に向けて意見交換
	11月15日	第25回経済同友会中央日本地区会議（長岡市） ・総合テーマ「広域観光と観光資源の磨き上げ」 ・基調講演「広域観光と観光資源の磨き上げ」 加藤庸之氏 観光庁 観光地域振興部長 ・各地経済同友会発表 ・アオーレ長岡視察 ・懇親会
第3回	2月20日	次年度活動方針・テーマ、交流行事について

13. 成長戦略委員会

委員長 山井 太（㈱スノーピーク・社長）

起業家支援研究会

座長 木山 光（木山産業㈱・社長）

次世代を担う子どもたちに新潟への愛着や誇りを持ってもらうため、教育界と経済界が連携して、小・中学生を対象とした新たな「キャリア教育」の仕組みづくりを検討し、シンポジウム「新潟のプライドを如何に醸成するか」を開催した。

起業家支援研究会では、創業を志している人や、起業家を育成するためのメンターの役割を学び、新潟に創業が次々と湧き起こるよう制度設計や手法について研究を深め、シンポジウム「ワクワクする生き方＝起業×新潟」を開催した。

【テーマ】成長戦略委員会：小・中学生を対象とした新潟の魅力を伝える新しい「キャリア教育」の仕組みづくりを検討する

起業家支援研究会：創業支援に必要なプラットフォームを考える

成長戦略委員会

回	開催日	内 容
	5月9日	正副委員長会議
第1回	6月21日	「上越市のキャリア教育（5日間の職場体験）について」 講師：田邊道行氏 上越市教育委員会 学校教育課 指導主事 相澤吉久氏 相村建設㈱ 代表取締役 丸田健一氏 ㈱ジェーミックス 代表取締役
第2回	8月4日	上越市が取り組んでいるキャリア教育現場視察 視察先：相村建設㈱ ホテルセンチュリーイカヤ
第3回	10月12日	委員会の求めるキャリア教育の仕組みづくりについて意見交換
第4回	10月19日	亀田西中学校の職場体験の様子を視察 視察先：小木工業㈱ ㈱協和製作所
	11月10日	正副委員長会議

第5回	1月23日	3月2日開催のシンポジウム及び平成29年度の方針・テーマについて意見交換
第6回	3月2日	(公開・教育問題委員会と共催) シンポジウム「新潟のプライドを如何に醸成するか」 基調講演「燕三条プライドプロジェクト」 山井太 成長戦略委員会 委員長 講演「地域活性化とこれからの学校」 田村学 氏 文部科学省初等中等教育局 視学官 パネリスト ・田村学 氏 文部科学省初等中等教育局 視学官 ・近藤朗 氏 新潟県小学校長会 会長 ・石坂学 氏 新潟市中学校長会 会長
	3月16日	正副委員長会議

起業家支援研究会

回	開催日	内 容
第1回	5月19日	創業支援に必要なプラットフォームについて意見交換
第2回	6月23日 ～24日	福岡市視察 1日目 スタートアップカフェ、(株)サエキジャパン、(株)プリンシプル 2日目 福岡地域戦略推進協議会、門司港アンティークカンパニー
第3回	9月20日	「これからの創る挑戦者の土壌作り」 新潟大学経済学部4年生 田島亮太 氏 慶應義塾大学総合政策学部4年生 福田恭子 氏
第4回	11月17日	これまでの研究会活動について及び2月27日開催のシンポジウムについて意見交換
第5回	2月27日	(公開) シンポジウム「ワクワクする生き方＝起業×新潟」 基調講演「起こせイノベーション 起業家という生き方」 山井太 成長戦略委員会 委員長 パネリスト ・山井太 成長戦略委員会 委員長 ・立川和行 氏 (株)ユニークワン 代表取締役 ・玉津清和 氏 新潟県産業政策課 産業金融室 室長 ・福田恭子 氏 慶應義塾大学総合政策学部4年生 ブラボー新潟
	3月23日	正副座長会議

14. インフラ推進委員会

委員長 渡辺 敏彦 (学新潟総合学園・副理事長)

本県のインフラ整備促進に向けて、現状や課題等について識者による講演を通じて、理解を深めた。また、昨年度に引き続き、総務省はじめ関係各所に対し、上越新幹線車内の情報通信環境改善に関する要望を行った。

さらに、当会の提言「2030年冬季オリンピック・パラリンピックの新潟開催を目指して」のフォローアップとして、新潟開催の課題共有と市民の機運醸成を目的としたシンポジウムを開催した。

【テーマ】鉄道・空港・港湾機能の連携による物流・人流、防災・救援機能、そして産業競争力の強化

回	開催日	内 容
第1回	4月 6日	「冬季オリンピック招致に向けた活動について」 講師：関聡氏 (一社) 雪国青年会議所 直前理事長 (当時) ほか
	4月 21日	正副委員長会議
	5月 25日	要望「上越新幹線車内の情報通信環境改善に関する要望書」 要望先：総務省、(株)NTT ドコモ、ソフトバンク(株)、KDDI(株)、 (一社) 移動通信基盤整備協会
	6月 22日	正副委員長会議
第2回	6月 30日	(公開) ①「地方創生にむけて」 講師：弭間俊則氏 東日本旅客鉄道(株) 執行役員新潟支社長 ②「生活インフラ企業としての社会的責任」 講師：星野武司氏 ヤマト運輸(株) 新潟主管支店長
		7月 15日
	8月 10日	正副委員長会議
	8月 30日	正副委員長会議
	11月 9日	正副委員長会議 (雪国青年会議所との打合せ)
	11月 16日	正副委員長会議 (新潟市文化スポーツ部長との打合せ)
第3回	11月 25日	(公開) シンポジウム「2030年冬季オリンピック・パラリンピック新潟開催 の課題を探る」 パネリスト ・篠田昭氏 新潟市長 ・皆川賢太郎氏 元アルペンスキー日本代表、プロスキーヤー、 (公財) 全日本スキー連盟 理事 ・土屋龍一郎氏 (株)エムウェーブ 代表取締役社長 ・西原康行氏 新潟医療福祉大学 教授
		12月 19日
	1月 12日	2030年冬季オリンピック新潟招致活動について県市長会で報告

15. 観光推進委員会

委員長 高橋 秀之 (愛宕商事(株)・社長)

今年度、委員会を設立し初年度は識者を招き、新潟県の観光の現状と課題について認識し新潟のインバウンド誘客などに関しても理解を深めた。

また、ハイシーズンに佐渡を視察し佐渡観光について県、佐渡市の関係者と意見交換を行った。

【テーマ】インバウンド促進と交流人口拡大に向けた観光戦略を検討する

回	開催日	内 容
	5月 13日	正副委員長会議
第1回	7月 5日	(公開) 「観光の現状と課題～ 観光で何をを目指すのか～」 講師：寺田吉道氏 新潟県副知事

第2回	8月3日 ～4日	(公開) 佐渡市視察 学校蔵(尾畑酒造・真野鶴)、佐渡西三川ゴールドパーク、宿根木、 相川金銀山関連施設、京町通り、石名天然杉
	11月10日	新潟県産業労働観光部 観光局長 山口良信 氏に 「東北ブロック提言書」を手交 出席者：高橋委員長、小林副委員長、鈴木副委員長、渡邊副委員長
第3回	11月18日	(公開) 「新潟の観光振興と地域経済創生を考える ～内需・外需の両旅行者 の動向を踏まえて～」 講師：加藤史子 氏 (株)リクルートライフスタイル ジャらんリサー チセンター 客員研究員
	1月13日	正副委員長会議